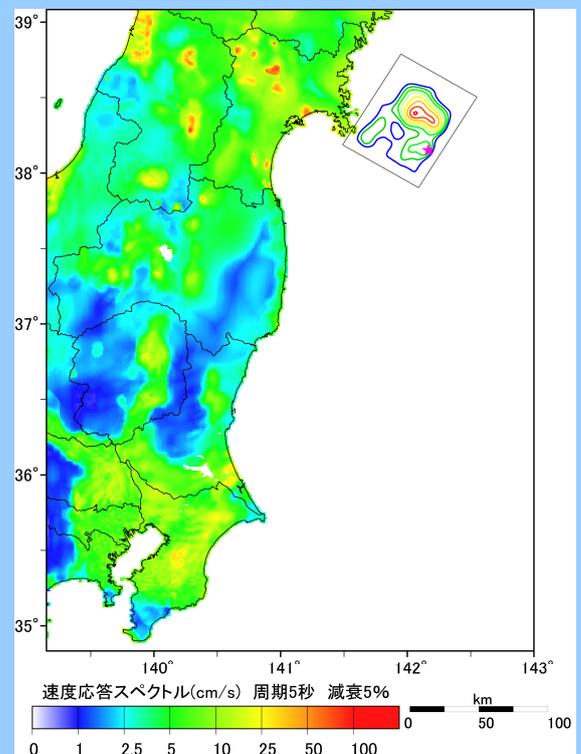
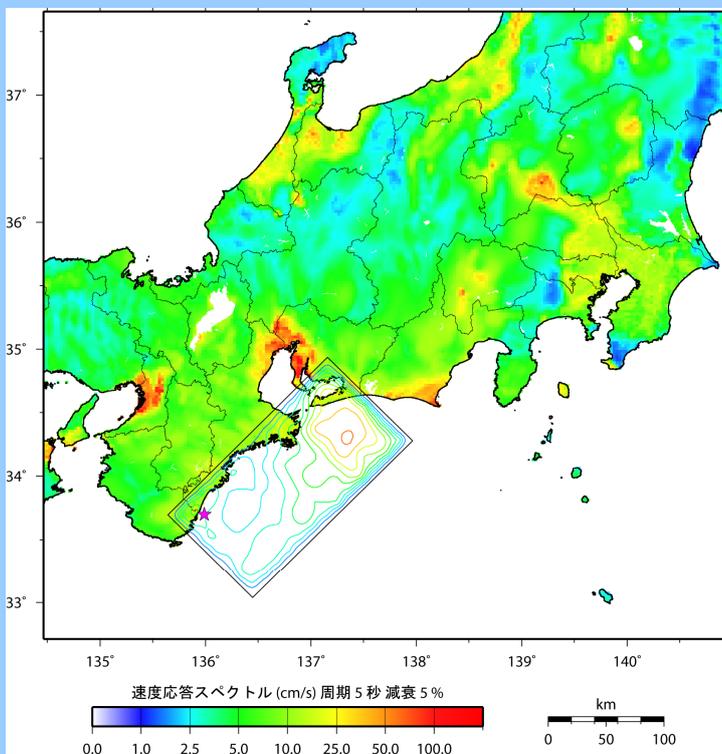
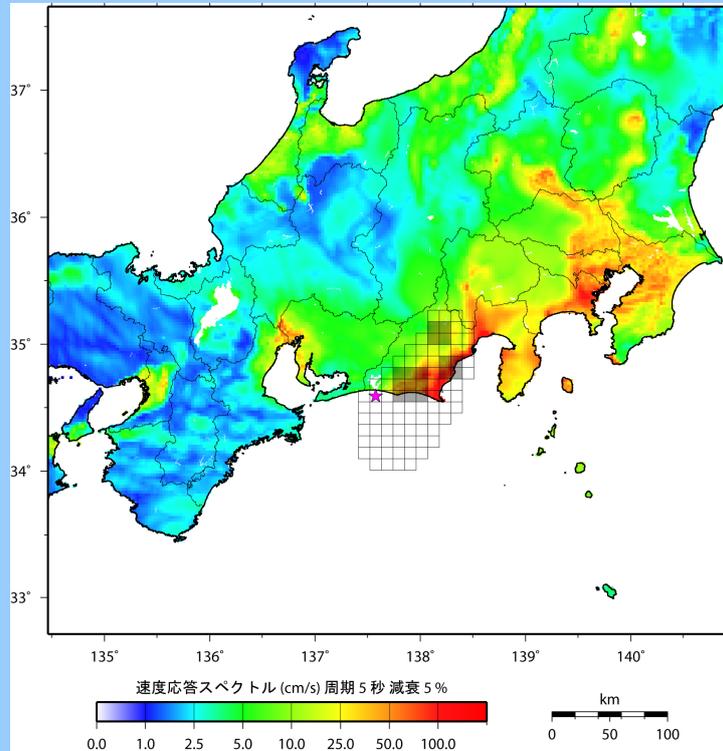


「長周期地震動予測地図」 2009年試作版



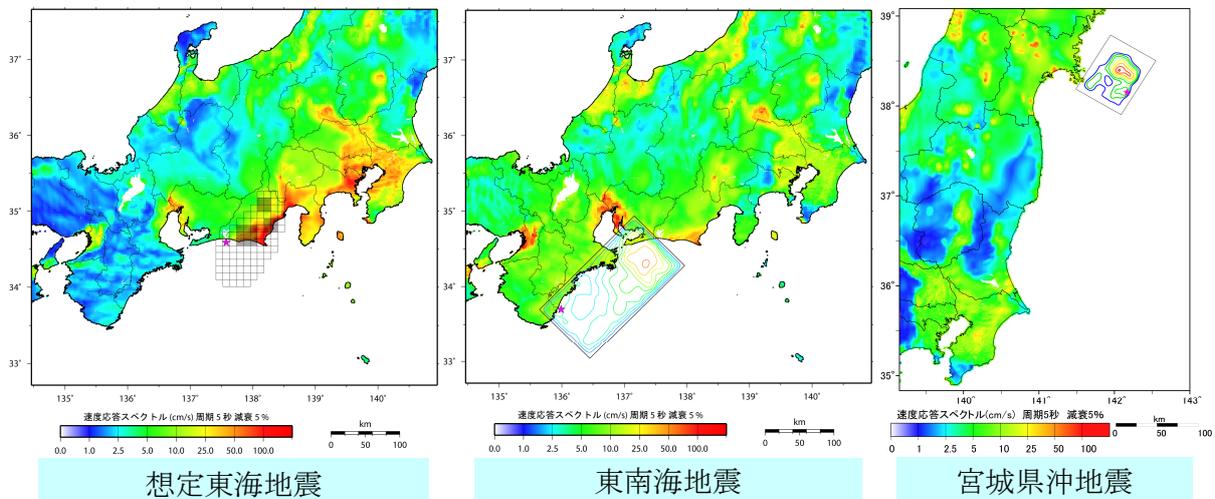
平成 21 年 (2009 年)
地震調査研究推進本部 地震調査委員会

発行にあたって

地震調査研究推進本部地震調査委員会は、平成17年3月に「全国を概観した地震動予測地図」を公表しました。その後も、最新の知見を取り込みながら、将来の全国地震動予測地図の高度化に向けた検討を進め、その成果を平成21年7月に「全国地震動予測地図」として公表しました。本長周期地震動予測地図は、全国地震動予測地図の一環ですが、これまでに公表してきたものとは異なり、長周期地震動に焦点を当てた地図として、別途公表するものです。

表紙の説明：長周期地震動予測地図の一例

長周期地震動予測地図とは、将来にある特定の地震が発生した際に、いろいろな地域を襲うであろう長周期地震動の強さや性質を予測した地図のことです。2009年版は想定東海地震、東南海地震、宮城県沖地震を対象にしています。長周期地震動の強さや性質には様々な側面があるので、この長周期地震動予測地図ではいくつかの種類 of 地図を用意しています。表紙には周期5秒の速度応答スペクトルの分布地図を示しました。なお、速度応答スペクトルについては10頁を参照してください。



※ 本書に掲載した地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（空間データ基盤）及び基盤地図情報を使用した。（承認番号 平21業使、第264号）

「長周期地震動予測地図」2009年試作版

目 次

1.	長周期地震動について	
1. 1	はじめに	1
1. 2	本報告書の位置づけ	2
1. 3	長周期地震動とは	2
1. 4	長周期地震動の影響	5
1. 5	長周期地震動予測地図の見方	8
2.	想定東海地震の長周期地震動予測地図	11
3.	東南海地震の長周期地震動予測地図	17
4.	宮城県沖地震の長周期地震動予測地図	23
5.	長周期地震動の予測手法	29
6.	震源モデルの作成	33
6. 1	想定東海地震の震源モデル	34
6. 2	東南海地震の震源モデル	36
6. 3	宮城県沖地震の震源モデル	37
7.	地下構造モデルの作成	
7. 1	想定東海地震・東南海地震のための地下構造モデル	39
7. 2	宮城県沖地震のための地下構造モデル	46
8.	課題と将来展望	52
付録		
1.	参考文献	54
2.	「レシピ」における地下構造モデルの作成法	58

本予測地図の第1～4章は一般向けに、第5～7章は専門家向けに書かれています。

